

食品實驗室-台北
FOOD LAB-TAIPEI
 初示報告
Initial Report

台科工業有限公司
 桃園縣中壢市民族路282號5樓

報告編號： FA/2014/90999
 日期： 2014/09/25
 頁數： 1 of 3



以下測試之樣品係由申請廠商所提供並確認資料如下：

產品名稱： 台科除菌水
樣品狀態： 瓶裝
申請廠商： 台科工業有限公司
送樣日期： 2014/09/11
測試日期： 2014/09/16
測試方法： 參考U.S.Pharmacopeia 35 NF 30 Microbiological Tests(51)Antimicrobial Effectiveness Testing

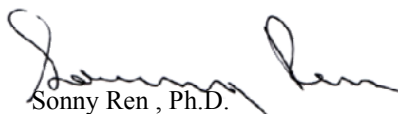
樣品測試 無經過稀釋處理

樣品:菌液=20mL:0.2mL混合作用，於接觸時間後立即測試。

測試結果：

試驗菌種：	金黃色葡萄球菌	<i>Staphylococcus aureus</i>	ATCC 6538
接菌量 (CFU/ mL)	接觸30秒後菌數 (CFU/ mL)		減菌率(R%)
3.4×10 ⁵	<1		>99.999

試驗菌種：	大腸桿菌	<i>Escherichia coli</i>	ATCC 8739
接菌量 (CFU/ mL)	接觸30秒後菌數 (CFU/ mL)		減菌率(R%)
3.8×10 ⁵	<1		>99.999



Sonny Ren, Ph.D.
 Signed for and on behalf of
SGS Taiwan Ltd.

特別註明：

本初示報告係作為通知之用，詳細測試結果
 須依紙本正式報告為準。

此報告是本公司依照背面所印之通用服務條款所簽發，此條款可在本公司網站<http://www.sgs.com/en/Terms-and-Conditions.aspx>閱覽，凡電子文件之格式依<http://www.sgs.com/en/Terms-and-Conditions/Terms-e-Document.aspx>之電子文件期限與條件處理。請注意條款有關於責任、賠償之限制及管轄權的約定。任何持有此文件者，請注意本公司製作之結果報告書將僅反映執行時所紀錄且於接受指示範圍內之事實。本公司僅對客戶負責，此文件不妨礙當事人在交易上權利之行使或義務之免除。未經本公司事先書面同意，此報告不可部份複製。任何未經授權的變更、偽造、或曲解本報告所顯示之內容，皆為不合法，違犯者可能遭受法律上最嚴厲之追訴。除非另有說明，此報告結果僅對測試之樣品負責。

食品實驗室-台北
FOOD LAB-TAIPEI
初示報告
Initial Report

台科工業有限公司
桃園縣中壢市民族路282號5樓

報告編號： FA/2014/90999
日期： 2014/09/25
頁數： 2 of 3



測試結果：

試驗菌種： 綠膿桿菌 <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ATCC 9027		
接菌量 (CFU/ mL)	接觸30秒後菌數 (CFU/ mL)	減菌率(R%)
1.3×10 ⁵	<1	>99.999

試驗菌種： 沙門氏桿菌 <i>Salmonella</i> ATCC 14028		
接菌量 (CFU/ mL)	接觸30秒後菌數 (CFU/ mL)	減菌率(R%)
2.2×10 ⁵	<1	>99.999

試驗菌種： 白色念珠菌 <i>Candida albicans</i> ATCC 10231		
接菌量 (CFU/ mL)	接觸30秒後菌數 (CFU/ mL)	減菌率(R%)
4.8×10 ⁵	<1	>99.999

備註：

1. 測試報告僅就委託測試者之委託事項提供測試結果，至若本產品之合法性，仍應由主管機關依法判斷。
2. 本報告不得分離或擷錄使用。
3. 減菌率= 100(接菌量－接觸時間後菌數)/接菌量
4. 本次委託測試項目由SGS食品實驗室-高雄執行。

- END -

此報告是本公司依照背面所印之通用服務條款所簽發，此條款可在本公司網站<http://www.sgs.com/en/Terms-and-Conditions.aspx>閱覽，凡電子文件之格式依<http://www.sgs.com/en/Terms-and-Conditions/Terms-e-Document.aspx>之電子文件期限與條件處理。請注意條款有關於責任、賠償之限制及管轄權的約定。任何持有此文件者，請注意本公司製作之結果報告書將僅反映執行時所紀錄且於接受指示範圍內之事實。本公司僅對客戶負責，此文件不妨礙當事人在交易上權利之行使或義務之免除。未經本公司事先書面同意，此報告不可部份複製。任何未經授權的變更、偽造、或曲解本報告所顯示之內容，皆為不合法，違犯者可能遭受法律上最嚴厲之追訴。除非另有說明，此報告結果僅對測試之樣品負責。

食品實驗室-台北
FOOD LAB-TAIPEI
初示報告
Initial Report

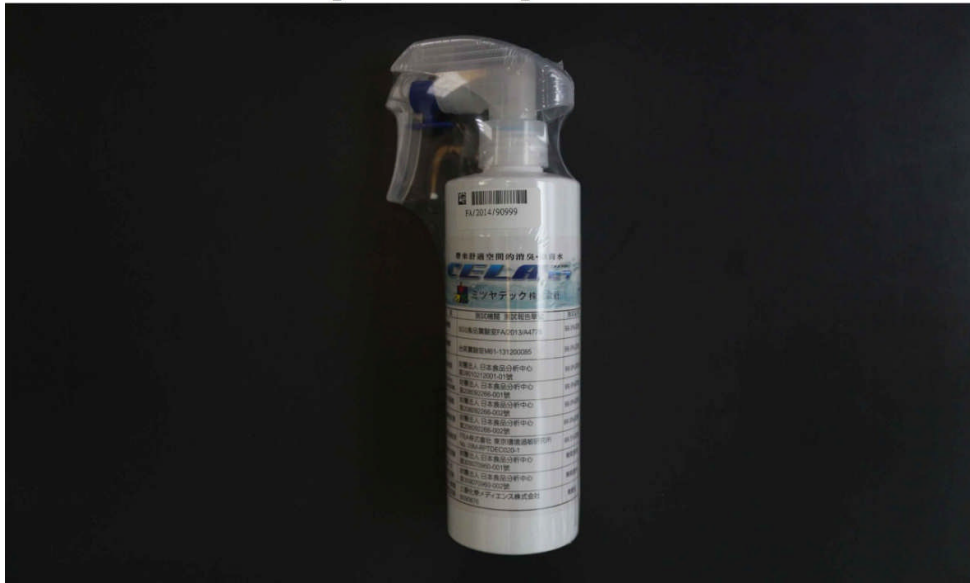
台科工業有限公司
桃園縣中壢市民族路282號5樓

報告編號： FA/2014/90999
日期： 2014/09/25
頁數： 3 of 3



樣品照片

FA/2014/90999



此報告是本公司依照背面所印之通用服務條款所簽發，此條款可在本公司網站<http://www.sgs.com/en/Terms-and-Conditions.aspx>閱覽，凡電子文件之格式依<http://www.sgs.com/en/Terms-and-Conditions/Terms-e-Document.aspx>之電子文件期限與條件處理。請注意條款有關於責任、賠償之限制及管轄權的約定。任何持有此文件者，請注意本公司製作之結果報告書將僅反映執行時所紀錄且於接受指示範圍內之事實。本公司僅對客戶負責，此文件不妨礙當事人在交易上權利之行使或義務之免除。未經本公司事先書面同意，此報告不可部份複製。任何未經授權的變更、偽造、或曲解本報告所顯示之內容，皆為不合法，違犯者可能遭受法律上最嚴厲之追訴。除非另有說明，此報告結果僅對測試之樣品負責。



食品實驗室-台北
FOOD LAB-TAIPEI
測試報告
Test Report



濃美實業有限公司
桃園縣龜山鄉南上路 176-1 號

報告編號： FA/2013/A4778
報告頁數： 1 之 1
報告日期： 2013/11/20



以下測試之樣品係由申請廠商所提供並確認資料如下：

產品名稱： CELA 抗菌水
申請廠商： 濃美實業有限公司
收樣日期： 2013/10/31
檢驗日期： 2013/11/13
測試項目及方法：

抗菌測試： 參照 U.S.PHARMACOPEIA MICROBIAL ANTIMICROBIAL PRESERVATIVES EFFECTIVENESS TEST(51)

測試結果：

樣品與菌液 20ml:0.2ml 混合作用，於接觸時間後立即測試

菌株名稱		作用時間		抑菌率(%)
		原接菌量	作用 30 秒菌量	
金黃色葡萄球菌 ATCC6538 (<i>Staphylococcus aureus</i>)	(CFU/ml)	5.0x10 ⁵	<1	>99.99
大腸桿菌 ATCC8739 (<i>Escherichia Coli</i>)	(CFU/ml)	2.1x10 ⁵	<1	>99.99
綠膿桿菌 ATCC9027 (<i>Pseudomonas aeruginosa</i>)	(CFU/ml)	9.0x10 ⁵	<1	>99.99
沙門氏桿菌 ATCC14028 (<i>Salmonella</i>)	(CFU/ml)	3.2x10 ⁵	<1	>99.99
白色念珠菌 ATCC10231 (<i>Candida albicans</i>)	(CFU/ml)	1.3x10 ⁵	<1	>99.99



Sonny Ren, Ph.D.

Signed for and on behalf of

SGS Taiwan Ltd.

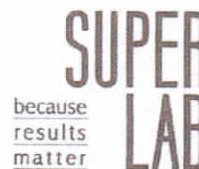
連結至 SGS 安心資訊平台



此報告是本公司... 此條款可在本公司網站<http://www.sgs.com/en/Terms-and-Conditions.aspx>閱覽... 文件之格式依<http://www.sgs.com/en/Terms-and-Conditions/Terms-e-Document.aspx>之電子文件期限與條件處理。請注意條款有關於責任、賠償之限制及管轄權的約定。任何持有此文件者，請注意本公司製作之結果報告書將僅反映執行時所紀錄且於接受指示範圍內之事實。本公司僅對客戶負責，此文件不妨礙當事人在交易上權利之行使或義務之免除。未經本公司事先書面同意，此報告不可部份複製。任何未經授權的變更、偽造、或曲解本報告所顯示之內容，皆為不合法，違犯者可能遭受法律上最嚴厲之追訴。除非另有說明，此報告結果僅對測試之樣品負責。



M61-131200085001



委託單位

濃美實業有限公司

桃園縣龜山鄉南上路176號之1

第 1 頁 / 共 1 頁

檢體名稱: CELA抗菌水

檢體狀態描述: 如附件照片

送檢方式: 顧客送檢

接收日期: 102年12月3日

檢驗日期: 102年12月9日

報告日期: 102年12月12日

檢驗項目	檢驗結果	單位	檢驗方法	檢出限量
抗菌試驗: 肺炎鏈球菌 Streptococcus pneumoniae	>99.99	%	參考JIS Z 2801	—
抗菌試驗: 流感嗜血桿菌 Haemophilus influenzae	>99.99	%	參考JIS Z 2801	—

XXX 以下空白 XXX

備註:

- 檢驗報告僅就委託檢驗者之委託事項提供檢驗結果, 至若本產品之合法性, 仍應由主管機關依法判斷。
- 將菌液濃度調整至 $10^2 \sim 10^7$ CFU/mL, 取1mL菌液加至9 mL檢體上, 於室溫下作用30秒。

- 低於方法偵測極限或檢出限量, 以“陰性”或“未檢出”表示。
- 將報告分發使用及 / 或摘要複製無效。
- 本檢驗如未涉及抽樣, 報告書僅對該送檢檢體負責。
- 如對檢驗結果有疑義, 請於七日內向本公司查詢。
- 報告中所載資料僅供參考, 不得做為廣告、商業推銷及公證之用。

報告簽署人: Etsai Shen
 業務秘書: Yun Chen
 審核人員: Etsai Shen



Wen-cheng Tsai

SIGNED ON BEHALF OF SUPERLAB
實驗室負責人 蔡文城 博士



M61-131200085

濃美實業有限公司

桃園縣龜山鄉南上路176號之1

第 1 頁 / 共 1 頁

檢體名稱: CELA抗菌水

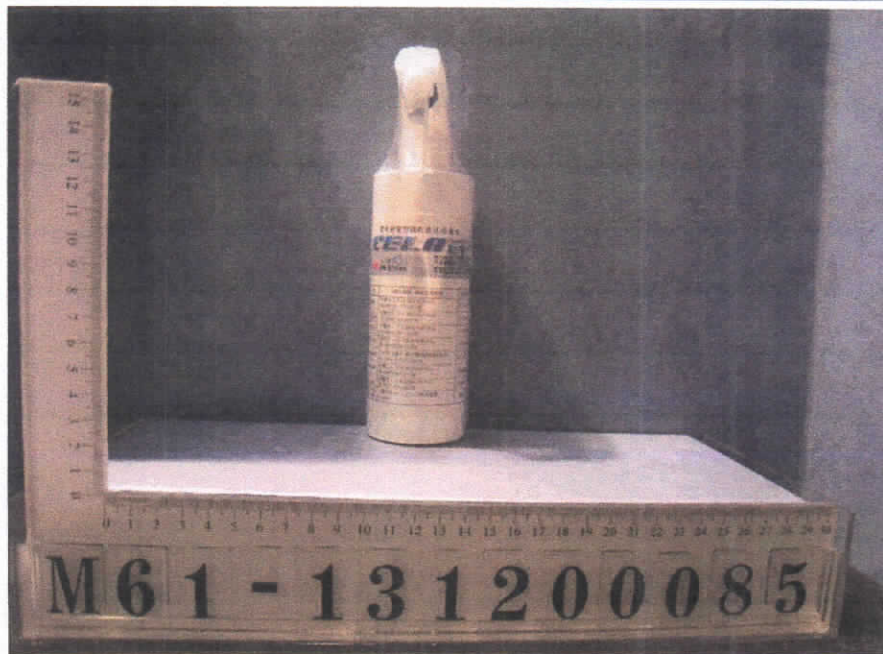
檢體狀態描述: 如附件照片

送檢方式: 顧客送檢

接收日期: 102年12月3日

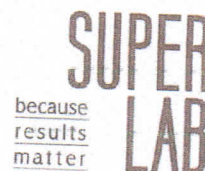
檢驗日期: 102年12月9日

報告日期: 102年12月12日





M61-131200085002



委託單位

濃美實業有限公司

桃園縣龜山鄉南上路176號之1

第 1 頁 / 共 1 頁

檢體名稱: CELA抗菌水

檢體狀態描述: 如附件照片

送檢方式: 顧客送檢

接收日期: 102年12月3日

檢驗日期: 102年12月16日

報告日期: 102年12月23日

檢驗項目	檢驗結果	單位	檢驗方法	檢出限量
抗菌試驗: 枯草桿菌 Bacillus subtilis	>99.99	%	參考JIS Z 2801	—
抗菌試驗: 李斯特菌	>99.99	%	參考JIS Z 2801	—
抗菌試驗: 巴西麴菌 Aspergillus brasiliensis	99.48	%	參考JIS Z 2801	—
抗菌試驗: 抗藥性金黃色 葡萄球菌 Methicillin-Resistant Staphylococcus aureus	>99.99	%	參考JIS Z 2801	—

XXX 以下空白 XXX

備註:

- 檢驗報告僅就委託檢驗者之委託事項提供檢驗結果，至若本產品之合法性，仍應由主管機關依法判斷。
- 將菌液濃度調整至 $10^2 \sim 10^6$ CFU/mL，取1mL菌液加至9mL檢體上，於室溫下作用30秒。

- 低於方法偵測極限或檢出限量，以“陰性”或“未檢出”表示。
- 將報告分離使用及 / 或摘要複製無效。
- 本檢驗如未涉及抽樣，報告書僅對該送驗檢體負責。
- 如對檢驗結果有疑義，請於七日內向本公司查詢。
- 報告中所載資料僅供參考，不得做為廣告、商業推銷及公證之用。

報告簽署人: EtainShen
業務證書: In-inChen
審核人員: BensonShie

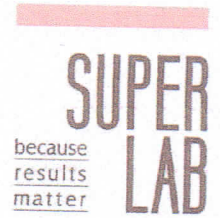


Wan-cheng Tsai

SIGNED ON BEHALF OF SUPERLAB
實驗室負責人 蔡文城 博士



M61-131200085



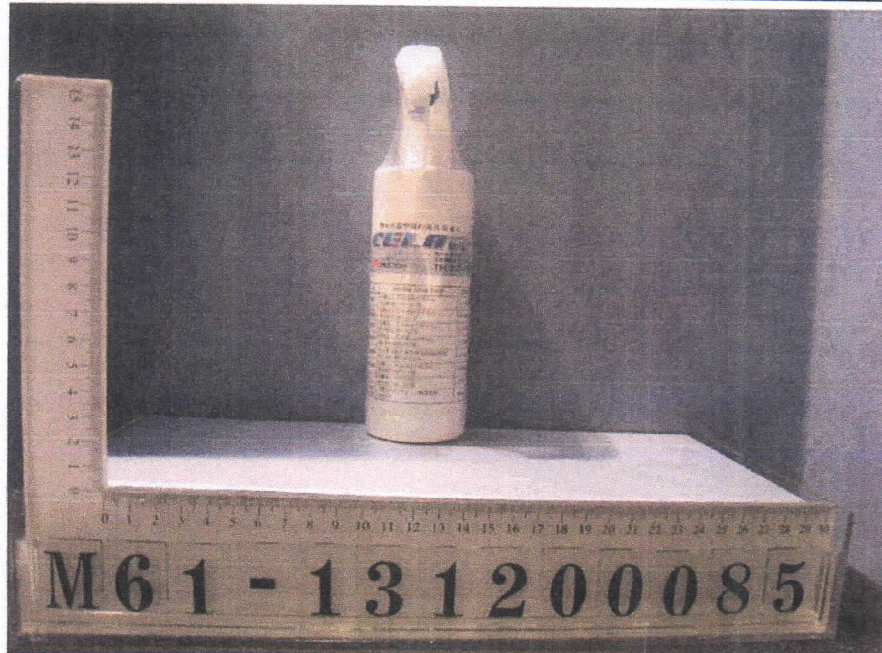
濃美實業有限公司
桃園縣龜山鄉南上路176號之1

第 1 頁 / 共 1 頁

檢體名稱: CELA 抗菌水
檢體狀態描述: 如附件照片
送檢方式: 顧客送檢
接收日期: 102年12月3日

檢驗日期: 102年12月16日

報告日期: 102年12月23日



表題；ハセツパーの殺ウイルス効果試験 評価試験；昭和大学藤ヶ丘病院

- 注1. 本文中の「ソフト酸化水」はハセツパー水と同じで、登録商標取得前の呼び名です。
注2. 文中の「オムコ」とはテクノマックス社へ技術移転を行う以前のメーカー名です。
注3. 「ハセツパー」は装置機器及び殺菌水としての登録商標がされています。

当社のハセツパー水（次亜塩素酸・HOCl）は1968年ころの電気分解方式当時から注目されており、強酸性水生成装置は医療認可も下り殺菌のために使用されています。このハセツパー水の主成分である次亜塩素酸（HOCl）の安全性や扱いについては30～35年の歴史があります。

供試ウイルス

単純ヘルペス（HSV）

親油性ウイルスで、主に、口腔や陰部から分離される。
感染すると歯肉口内炎、外部膿炎、角結膜炎などを引き起こす。

インフルエンザウイルス（Inf）

親油性ウイルスで、主に、呼吸気道、絨毛上皮細胞で増殖し、
感染すると悪寒、せき、頭痛、発熱、筋肉痛を引き起こす。

コクサッキーウイルス（Cox）

親水性ウイルスで、感染すると軽度の手足口病、
流行性胸痛症を引き起こす。

エコーウイルス（Echo）

無菌性髄膜炎、発疹症、咽頭炎や夏かぜの原因となる。

エンテロウイルス（En）

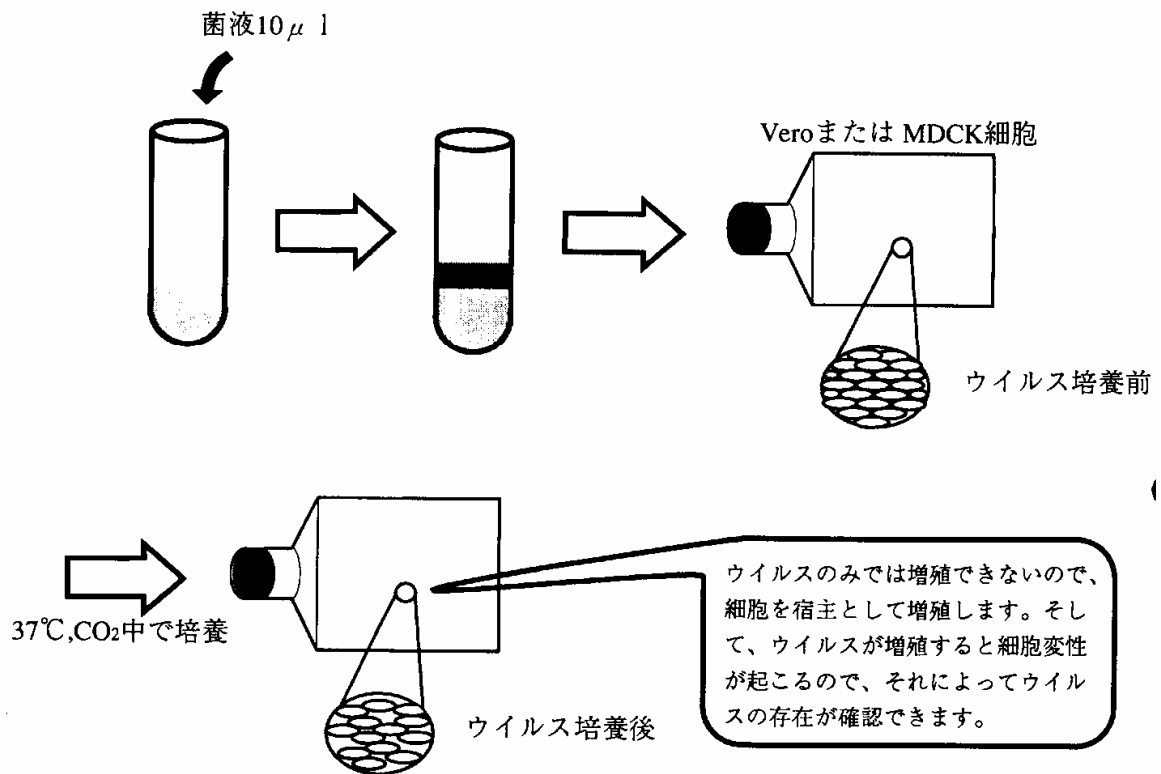
親水性ウイルスで、主に腸管で増殖する。出血性髄膜炎
などを引き起こす。

試験内容

各種ウイルスをソフト酸化水と接触させます。このとき、ウイルスの生死を確認するために宿主となる培養細胞にウイルス液を撒き、培養細胞の変性で判定します。

試験方法

各種ウイルス液 $10\mu\text{l}$ をソフト酸化水 1ml に添加し、室温で5秒後、各種細胞へ $10\mu\text{l}$ 添加し、 37°C 二酸化炭素中で培養後、細胞変性の有無を判定した。



試験結果

供試ウイルス		TCID ₅₀ /ml	5 sec	15 sec	30 sec	60 sec
HSV	HF	10 ^{8.5}	—	—	—	—
	UW	10 ^{8.3}	—	—	—	—
Inf	A/PR/8	10 ^{6.6}	—	—	—	—
	A/Tokyo/2/75	10 ^{5.9}	—	—	—	—
	AA/FM/1/47	10 ^{5.7}	—	—	—	—
	A/USSR/92/97	10 ^{6.6}	—	—	—	—
CoxA	9	10 ^{3.5}	—	—	—	—
	16	10 ^{4.9}	—	—	—	—
CoxB	1	10 ^{5.0}	—	—	—	—
	2	10 ^{6.3}	—	—	—	—
	3	10 ^{6.4}	—	—	—	—
	4	10 ^{6.4}	—	—	—	—
	5	10 ^{6.9}	—	—	—	—
Echo	7	10 ^{4.4}	—	—	—	—
	18	X	—	—	—	—
	27		—	—	—	—
En	71	10 ^{4.5}	—	—	—	—

どのウイルスに対しても5秒で不活化し、優れた抗ウイルス効果が確認できました。

TCID₅₀/mlとは？

ある濃度のウイルス液を希釈して培養したときに、培養細胞を50%細胞変性を起こす希釈倍率の逆数を示しています。つまり、数値が大きいほどウイルス濃度が濃いことになります。

まとめ

病院では血液や体液の付着した器具、シーツ等が毎日のように洗浄されています。これらを取り扱う人や医療従事者の方々は、非常にウイルス感染しやすい環境で仕事をしているわけです。このような環境を改善するために院内衛生管理が行われています。これに、オムコのソフト酸化水を使用して頂ければ、病原性細菌はもちろんウイルスも十分に不活化が可能となります。

しかも、本試験条件では5秒という短時間でウイルスが、不活化されています。実際に病院内の衛生管理に使われる場合、ウイルス血液などの有機物中には存在していますから、十分な量のソフト酸化水をお使い下さい。

以上

弱酸性次亜塩素酸水

Clean Water



インフルエンザウイルス不活化試験

CELA「セラ」のインフルエンザウイルス不活化が第三者機関において確認されました。

セラにインフルエンザウイルスA型（H1N1）を添加し5分作用後、ウイルス感染価を測定した結果、**99.8%不活化**したことを確認しました。

試験依頼先：財団法人日本食品分析センター

試験成績書発行年月日：2009年（平成21年）11月26日

試験成績書発行番号：第09010212001-1号

試験ウイルス	試験開始時 Log TCID50/ml	1分後 Log TCID50/ml	5分後 Log TCID50/ml	5分後不活化率 (当社作成)
インフルエンザウイルス(H1N1)	6.0	4.3	3.3	99.8%

TCID50：median tissue culture infectious dose, 50%組織培養感染率

表の数値は作用液1mlあたりのTCID50の対数値

通常のインフルエンザの主な感染経路は、飛沫感染と接触感染である。

- ・飛沫感染：感染した人の咳、くしゃみ、つばなどの飛沫とともに放出されたウイルスを健康な人が吸入することによって感染する。
- ・接触感染：感染した人がくしゃみや咳を手で抑えた後や、鼻水を手でぬぐった後に、机やドアノブ、スイッチなどに触れると、その触れた場所にウイルスが付着することがある。その付着したウイルスに健康な人が手で触れ、その手で目や鼻、口に再び触れることにより、粘膜・結膜などを通じてウイルスが体内に入り感染する。

厚生労働省「個人、家庭及び地域における新型インフルエンザ対策ガイドライン」より

Clean Water

HCLEAN

ネコカリシウイルス (ノロウイルス代替) 不活化試験

猫杯状ウイルス / ノロウイルス (ノロウイルス代替)

CELA「セラ」のネコカリシウイルス(ノロウイルス代替)不活化が第三者機関において確認されました。

セラにネコカリシウイルス(ノロウイルス代替)を添加し5分作用後、ウイルス感染価を測定した結果、**99.98%**不活化したことを確認しました。

試験依頼先：財団法人日本食品分析センター

試験成績書発行年月日：2008年(平成20年)11月7日

試験成績書発行番号：第208092266-001号

試験ウイルス	試験開始時 Log TCID50/ml	1分後 Log TCID50/ml	5分後 Log TCID50/ml	5分後不活化率 (当社作成)
ネコカリシウイルス※ (ノロウイルス代替)	6.8	3.7	3.0	99.98%

TCID50：median tissue culture infectious dose, 50%組織培養感染率

表の数値は作用液1mlあたりのTCID50の対数値

※ネコカリシウイルスは、細胞培養が不可能なノロウイルスの代替ウイルスとして広く使用されています。

Clean Water

HCLEAN

イヌパルボウイルス (CPV : Canine Parvovirus) 不活化試験 犬细小病毒

CELA「セラ」のイヌパルボウイルス (CPV : Canine Parvovirus) 不活化が第三者機関において確認されました。

セラにイヌパルボウイルス (CPV : Canine Parvovirus) を添加し5分作用後、ウイルス感染価を測定した結果、**99.9%不活化**したことを確認しました。

試験依頼先：株式会社食環境衛生研究所

試験成績書発行年月日：2011年（平成23年）2月16日

試験成績書発行番号：No.11011112-2

試験ウイルス	感染前ウイルスカ価 TCID50/ml	感作時間0分 TCID50/ml	感作時間5分 TCID50/ml	5分後不活化率 (当社作成)
イヌパルボウイルス (CPV : Canine Parvovirus)	$10^{10.3}$	$10^{10.3}$	<10	99.9%

TCID50 : median tissue culture infectious dose, 50%組織培養感染率

弱酸性次亜塩素酸水

Clean Water



ネコカリシウイルス (ノロウイルス代替) 不活化試験

CELA「セラ」のネコカリシウイルス（ノロウイルス代替）不活化が第三者機関において確認されました。

セラにネコカリシウイルス（ノロウイルス代替）を添加し5分作用後、ウイルス感染価を測定した結果、**99.98%不活化**したことを確認しました。

試験依頼先：財団法人日本食品分析センター

試験成績書発行年月日：2008年（平成20年）11月7日

試験成績書発行番号：第208092266-001号

試験ウイルス	試験開始時 Log TCID50/ml	1分後 Log TCID50/ml	5分後 Log TCID50/ml	5分後不活化率 (当社作成)
ネコカリシウイルス※ (ノロウイルス代替)	6.8	3.7	3.0	99.98%

TCID50：median tissue culture infectious dose, 50%組織培養感染率

表の数値は作用液1mlあたりのTCID50の対数値

※ネコカリシウイルスは、細胞培養が不可能なノロウイルスの代替ウイルスとして広く使用されています。

弱酸性次亜塩素酸水

Clean Water



抗菌試験 1

CELA「セウ」の各種細菌に対する抗菌作用が第三者機関において確認されました。

試験依頼先：財団法人日本食品分析センター

試験成績書発行年月日：2008年（平成20年）11月11日

試験成績書発行番号：第208092266-002号

試験菌	試験開始時 生菌数 (/mL)	1分後 生菌数 (/mL)	5分後 生菌数 (/mL)	20分後 生菌数 (/mL)
枯草菌 (芽胞)	8.8×10^6	5.2×10^6	1.7×10^3	20
大腸菌 (O157:H7)	2.4×10^6	<10	—	—
黄色ブドウ球菌	3.4×10^6	<10	—	—

<10：検出せず

—：実施せず

保存温度は室温

試料液（CELA（セウ））10mlに試験菌を0.1 ml接種し、試験液とした。

室内保存で1分後～経過時間後に試験液をSCDLPI培地で10倍に希釈後、生菌数を測定した。

弱酸性次亜塩素酸水

Clean Water



抗菌試験2

CELA「セラ」の各種細菌に対する抗菌作用が第三者機関において確認されました。

試験依頼先：財団法人日本食品分析センター

試験成績書発行年月日：2010年（平成22年）6月24日

試験成績書発行番号：第10034466001-01号

試験菌	試験開始時 生菌数 (/mL)	30秒後 生菌数 (/mL)	1分後 生菌数 (/mL)	5分後 生菌数 (/mL)
カンピロバクター	3.2×10^5	<100	<100	<100
レジオネラ	5.6×10^7	<100	<100	<100
サルモネラ	6.3×10^5	<10	<10	<10

<10および<100：検出せず

保存温度は室温

試料液（CELA（セラ））10mlに試験菌を0.1ml接種し、試験液とした。

室内保存で30秒後～経過時間後に試験液をSCDLP培地で10倍に希釈後、生菌数を測定した。

弱酸性次亜塩素酸水

Clean Water



安全性試験

次亜塩素酸水を使用する上で問題になるのが、人に対する安全性です。巷で販売されている「殺菌剤」や「消毒剤」の中には、人に対して悪影響を及ぼすものも少なくありません。

CELA「セウ」を安心してお使い頂くために、安全性試験を行いました。

試験名	試験依頼先	試験成績書発行年月日	試験成績書発行番号	試験結果
ウサギを用いた眼刺激性試験	財団法人 日本食品分析センター	2009年9月18日	第309070960-001号	無刺激物
ウサギを用いた皮膚一次刺激性試験	財団法人 日本食品分析センター	2009年9月28日	第309070960-002号	無刺激物
ラットを用いた急性経口毒性試験	財団法人 食品農医薬品安全性評価センター	2009年10月16日	No.B827 (560-001)	毒性は極めて弱い
ラットを用いた全身吸入暴露による急性毒性試験	三菱化学メディエンス株式会社	2009年12月24日	B090876	変化は認められない

弱酸性次亜塩素酸水

Clean Water



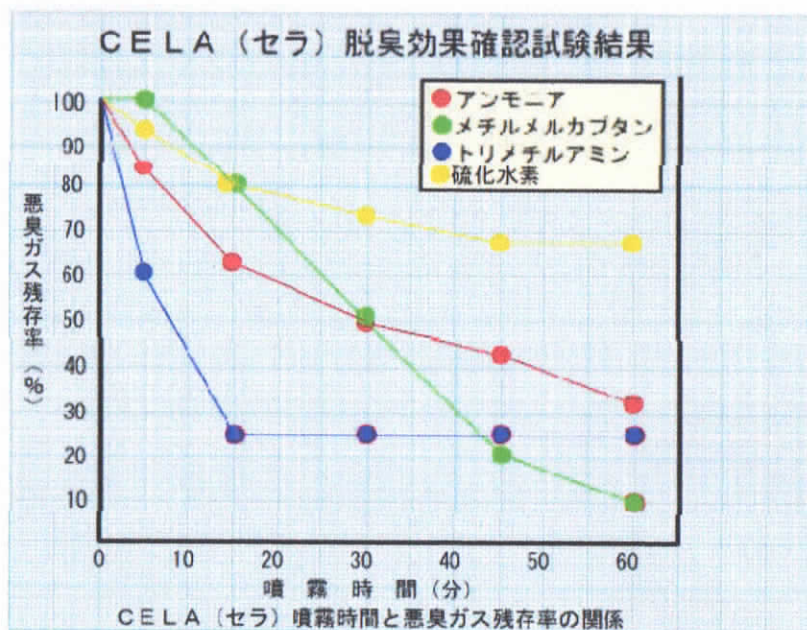
脱臭効果確認試験

CELA「セラ」の脱臭に対する効果が第三者機関において確認されました。

試験依頼先：川重テクノサービス株式会社

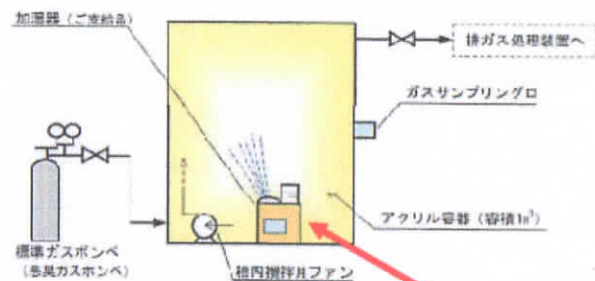
試験成績書発行年月日：2009年（平成21年）11月13日

試験成績書発行番号：K09J1501



(注) 図中●と●は、検知管の測定下限濃度以下となった為に、測定値の下限値を記載した。

試験装置概略図



弱酸性次亜塩素酸水

Clean Water



アレルギー不活化試験

CELA「セラ」のスギ花粉アレルギーとダニアレルギーの不活化が第三者機関において確認されました。

試験依頼先：ITEA株式会社 東京環境アレルギー研究所
試験成績書発行年月日：2009年（平成21年）12月10日
試験成績書発行番号：No. 09M-RPTDEC020-1

対象アレルギー	1分後	5分後
スギ花粉アレルギー (Cry j 1)	0.68 99.5%低減	<0.5 >99.6%低減
ダニアレルギー (Der f 1)	0.52 99.4%低減	<0.5 >99.4%低減

検出限界：0.5ng/ml
表の数値はng/ml

CELA「セラ」にアレルギー溶液（スギ花粉粗抽出液、ダニ粗抽出液）を添加し反応させ、反応後の溶液中アレルギー濃度を測定しました。